

里山学研究

# 流域のくらしと 奥山・里山

— 愛知川から考える —

龍谷大学 里山学研究センター  
2016年度 年次報告書



龍谷大学  
RYUKOKU UNIVERSITY

## 目 次

巻頭言	牛尾洋也	
目 次		
2016年度里山学研究センター報告書について	村澤真保呂	1
1. 龍谷大学里山学研究センターシンポジウム		
「流域のくらしと奥山・里山～愛知川から考える～」		
(1) プログラム		5
(2) 基調講演		
1) なぜ愛知川流域を研究するのか		
—琵琶湖の健全な「乳母」であるために—	田中 滋	7
2) 東近江市の流域政策	山口美知子	21
(3) 関連講演		
1) 小椋谷と木地屋	須藤 護	28
2) 東近江市里山林整備の現場から	松尾扶美	33
3) 東近江の森林資源—特徴と利用可能性—	山下直子	38
(4) パネルディスカッション		42
森・川・湖の統一的な流域政策へ		
コーディネーター：宮浦富保		
パネリスト：山口美知子・須藤 護・松尾扶美・山下直子・田中 滋・林 珠乃		
(5) 閉会の挨拶	丸山徳次	51
(6) ポスターセッション		54
2. 研究会報告 研究会リスト		
(1) 第1回研究会		
1) 琵琶湖、その湖際（みずぎわ）の景観変遷		
—それを望むのは誰か—	中川晃成	97
2) 地理情報システム（GIS）の基礎とその可能性	林 珠乃	99
(2) 第2回研究会		
水と暮らしの文化—日本遺産の取り`組みについて—	大崎康文	101
(3) 第3回研究会		
森林の現状と課題及び所有権の問題について	山口美知子	103
(4) 第4回研究会		
1) 「ラムサールシンポジウム2016 中海・宍道湖」		
参加のための事前学習会	須川 恒	106
ラムサール条約を活かした湿地保全活動		
—世界の湿地の日 in 湖北—		
2) ラムサールシンポジウム2016		
中海・宍道湖への参加・報告	赤松喜和・金 紅実	107

(5) 第5回研究会		
1) 木質バイオマス発電の現状と課題	小池浩一郎	109
2) 日本における木質バイオマス利用の現状と課題	泊みゆき	113
(6) 第6回研究会		
1) 廃村茨川に生まれて—森林文化再考—	筒井 正	114
2) 木地師の活動と里村	須藤 護	116
(7) 第7回研究会		
1) マラウイ湖の水産業と暮らし	Bosco Rusuwa	118
2) マラウイ湖と琵琶湖の比較を考える	丸山 敦	119
3) 質疑応答		120
(8) 第8回研究会		
「琵琶湖保全再生施策に関する計画」の検討状況について	岡田英基	121
(9) 第9回研究会		
埋もれた都の防災学：都市と地盤災害の2000年	釜井俊孝	122

### 3. 研究活動報告

(1) 龍谷の森での学生の研究活動	宮浦富保	131
(2) 地域における新たな森林・林業施策の一動向	西脇秀一郎	133
—滋賀県長浜市における自伐型林業施策に関する調査報告—		
(3) 森林組合における里山及び奥山管理の現況	西脇秀一郎	152
—滋賀県「東近江市永源寺森林組合」に関する調査報告—		
(4) 京都弁護士会公害・環境委員会への2016年度里山実地修習	西脇秀一郎	166
(5) 森林を中心とする地域資源の循環的利用による持続可能な地域づくりの先進事例		
—ドイツ・バイエルン州アルゴイ地域とオーストリア・「ブレゲンツの森」地域	牛尾洋也・宮浦富保	
	吉岡祥充	169
(6) 愛知川源流域（茨川）現地視察報告	村澤真保呂	184
(7) 「河辺いきものの森」のチョウ類相	太田真人・遊磨正秀	187
(8) 琵琶湖一周フィールド研究会報告	清水万由子	193
(9) 新潟県地域創生調査—国家戦略特区、世界農業遺産、日本遺産、環境政策—	岡野大樹・嶋田可菜・古太恵人 浦諒太郎・山本竜平・由良康太 米住京子・山本英樹・安達弘暉 西元康宏・井上優大・吹野僚平 藤坂妃那・今西 徹・野間元綺 菅野優香・石田聡子・中原広貴 牛尾洋也	196
(10) 環境DNAメタバーコーディングによる魚類相解析	山中裕樹	249
(11) 琵琶湖岸ヨシ群落について聞き取り調査	森本健吾・横田岳人	253

(12) 武奈ヶ岳登山道の荒廃の現状	清水憲柱・横田岳人……………	257
(13) 伐採後放棄された里山の林床植生 —伐採後経過年数の違いによる植生の違い—	濱田明里・横田岳人……………	266
(14) 松村式改良型ドラム缶炭窯の性能について —黒炭窯、白炭窯と比較して—	高桑 進……………	272
(15) メドハギに見られる帯化現象	岩瀬剛二・小林龍昇……………	287
(16) 城陽生きもの調査隊と青谷くぬぎ村 —宇治川のヨシで竪穴住居をふきかえる—	好廣真一……………	290
(17) 阿蘇における野焼き (burning) と草原維持の特殊性	高橋佳孝……………	293
(18) 「龍谷の森」里山保全の会の活動報告	林 珠乃……………	301
(19) その他研究業績一覧 秋山道雄・岩瀬剛二・宮浦富保・夏原由博・高橋佳孝・高桑進・須川恒……………		302
 4. 研究論文		
(1) 琵琶湖水位の150年、特にその自然変動および長期推移	中川晃成・吉田天斗 井上康裕……………	309
(2) 自然観賞型遊歩道の管理責任判断における考慮事由 —2つの落枝事故訴訟の検討を通して—	鈴木龍也……………	334
(3) 愛知川における河床高の変動	遊磨正秀・太田真人……………	346
(4) 里川と人々の関わり—琵琶湖周辺地域の暮らしから考える— 糸川風馬・河崎佑美・西川大夢 井上裕美・坂本風輝・谷口弘明 出口真生樹・西村大輝・長谷井典 半林奈津子・彭開源・俣野有紀 清水万由子……………		356
(5) 琵琶湖沿岸域の社会・文化に関する文献レビュー	片桐 悠・清水万由子……………	371
 5. 活動日誌……………		
(1) 運営会議		
(2) 全体会議		
(3) 研究会		
(4) シンポジウム		
(5) 調査合宿		
		381



# 1. シンポジウム

「流域のくらしと奥山・里山

～愛知川から考える～」



## ■ 2. 研究会報告



### ■ 3. 研究活動報告



## ■ 4. 研究論文



## ■ 5. 活動日誌



---

里山学研究  
流域のくらしと奥山・里山  
—愛知川から考える—

龍谷大学 里山学研究センター  
2016年度 年次報告書

---

2017（平成29）年3月 発行

（編集・発行） 龍谷大学 里山学研究センター  
（代表者 センター長 牛尾洋也）  
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67  
TEL：075-645-2184 FAX：075-645-2240  
<http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/>

（印刷） 河北印刷 株式会社  
〒601-8461 京都市南区唐橋門脇28  
TEL：075-691-5121



龍谷大学 里山学研究センター

2017年3月

<http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/>